

0歳4カ月 ひろばデビューしたよ

0歳児と家にいるとすぐ煮つまりませんか。

慣れない育児で体にも心にもつかれがたまり、基本的にいつもつかれているし、気をつけることがたくさんあって気が抜けない毎日でした。

妊娠中にどんなに予習していても、いざ赤ちゃんとの生活が始まるとわからないことだらけです。

毎日「これで良いのかな？」「本当に大丈夫かな？」と自問自答ばかりの日々。

それでも育児は待ったなし！ちいさな不安はどんどん蓄積されていきます。

平日昼間、子どもとの生活は、睡眠不足やつかれが重なりなかなか過酷です。まだ真っ昼間なのに既に眠いし、頭もぼんやりするし・・・。

思えばちょっと一息つけるようになったのは、秋になり、生後半年すぎてからだっように思います。

それまではずっと、にっちもさっちもいなくなり途方に暮れてしまうことがたびたびありました。

そんな中で「地域子育て支援拠点事業所」（以下「ひろば」）に行ってみました。

わらにもすがるような気持ちで、パンダの本（『子育て応援ガイドブック』冊子）をチェックし、すごく緊張しながら、勇気をだして飛びこんでみたところ、ひろばは新米親にとってもとてもやさし〜い場所でした。

まずあたたかく笑顔で「かわいいね」「何か月？」「だっこしましょうか」と出迎えてもらえました。

これはかなりうれしかったです！小さい子ども連れで気軽に行ける場所はそうそうありません。こんなウェルカムな雰囲気は初めてだと感じ、すこし泣きたくなりました。

子どもを遊ばせながら、子どもの授乳や睡眠、産後の体調、つぎつぎ質問いただき、記憶をたどりつつ返事をします。

すると、返事しながら次々にあれこれあった不安を思い出し、ぼそぼそと質問ともグチともつかぬことをとりとめもなく話すと、

ふんふんと聞いて下さり、アドバイス頂いたり、「そうだよね」と共感して頂いたりしました。

ただそれだけと言えればそれだけなのですが、心がほっとする時間でした。

会社勤め等の仕事と違い、家庭での子育てには、基本「休憩時間」が設けられていません。子どもが生まれてからつくづく実感しました。

ひろばで過ごす時間は私にとって「休憩時間」です。

小さなことではありますが、例えば、ちょっと子どもを見ていて頂いて、トイレに行くこともできます。

おもちゃがたくさんあり、子どももいきいき楽しそうです。

あわただしくバタバタと無我夢中ですごす日常の中で、ハッと我に返り心にゆとりが生まれるような、ほんの束の間すこし余裕ができて子どもににっこりできるような、そんな時間が持てます。

ちいさい子どもと出かけようとすると、準備がなかなか大変ではありますが、興味がある方は、ぜひ一度気軽に足を運んでみて頂きたいです。

また、一度行って見たけれど何かの理由で何となくそれっきり行っていないという方は、

一回目とはちがう他のひろばに行ってみることもおすすめします。なにせ今治には9か所も！あるのです。

一つ一つそれぞれに個性があり、まったく雰囲気も異なります。

あるいは、同じ場所でもその時その時で様子が違うので、思いきって同じひろばにもう一度行ってみても良いかもしれません。

あなたにとっても、ほっとできる場所の一つに加わると良いな、と思います。

ではまた来月・・・。

最後までお読みくださり、ありがとうございました！